

令和7年度 指定管理者施設管理評価シート

施設名称		25 東京都台東区立やなか高齢者在宅サービスセンター	部課名	福祉部高齢福祉課	
選定方法		<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
			指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区谷中2-17-20 [規模] 延べ床面積 2,794.36㎡の内577.06㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階のうち1階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員35名） [自主事業] 自主事業は行っていない
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(6)	[人員体制] 28名 （内 訳）施設長(1(兼務))、生活相談員(1)、機能訓練指導員(アルバイト4)、看護師(準職員1、アルバイト1)、管理栄養士(1(兼務))、ケアワーカー(常勤2、準職員3、アルバイト7)、その他(アルバイト9) （前年増減）3名増 [生活相談員(常勤-1)、機能訓練指導員(アルバイト+1)、ケアワーカー(常勤+2、準職員-1)、その他(アルバイト+2)]

2. 予算決算		R5予算	R5決算	R6予算	R6決算
収入	委託料（指定管理料）	11,824,710	11,824,710	11,619,230	11,619,230
	利用料金収入	76,658,000	58,904,034	76,836,000	71,791,777
	その他収入（補助金事業収入等）	720,290	1,119,200	1,079,770	4,018,429
	計	89,203,000	71,847,944	89,535,000	87,429,436
支出	人件費	57,731,000	59,047,127	57,765,000	62,059,075
	光熱水費	6,574,000	4,671,574	6,758,000	4,993,038
	維持管理費（委託料・賃借料）	12,126,000	10,860,579	12,587,000	11,074,308
	修繕費	370,000	24,515	370,000	45,419
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（給食費等）	12,402,000	9,730,032	12,055,000	8,901,912
	計	89,203,000	84,333,827	89,535,000	87,073,752
収支			-12,485,883		355,684

3. 活動指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
開館日数	日	311	306	311	311
定員	人	35	35	35	35

4. 成果指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用率	%	74.0	71.8	61.1	73.2
利用者数	人	8,000	7,687	6,650	7,965

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

新型コロナ感染の一時休業により利用率低下・収入減となったが、たなかデイ・みのわデイ利用者の受け入れによる利用率増や、活動内容を充実させ滞在時間を長く調整するなど、収入増に取り組んだ。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令等の遵守、事業計画書・報告書等の提出、危機管理対策、個人情報の取り扱いなど、管理運営を適正に行っている。新型コロナ感染時のサービス取り扱いなど、職員の労働環境にも配慮している。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	法令を遵守した人員配置により、適切に管理運営している。リーフレット作成や定期的なHP更新などの広報活動強化、サービス提供時間の選択肢拡大やきめ細かな送迎など、利用率向上に努めている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	新型コロナ感染拡大の再発防止に努め、日常清掃に加え消毒や対策委員会の開催など、衛生管理に努めている。異常箇所の早期発見及び早急な修繕など適切な事故防止措置と、ごみの削減・リサイクル・節電対策にも取り組んでいる。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	満足度調査の集計結果や要望・意見を全職員に周知・検討し、日常業務へ反映させている。苦情は事故対策委員会にて協議し、迅速に対応している。令和4年度の第三者評価をふまえ、職員研修の推進や、機能訓練計画表を作成し個別機能訓練の充実にも努めている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	新型コロナによる利用率低下・収入減は、たなかデイ・みのわデイ利用者の受け入れによる利用率増や、7~8時間滞在の機能訓練利用者を増やす取り組みを行い、利用料収入増となった。体制を整えるための人件費は増えたも収支は改善できている。

(6) 優れた取り組み

◀加点項目▶

※点数上限：10点

指定管理者の自主的な取り組みによる成果

—

点

7. 総合評価

極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (100 / 110点)	【所見】 令和5年度の新型コロナ起因による収入減を、利用率増と利用時間増の様々な取り組みにより、プラス収支に改善した。サービス提供時間、送迎、個別機能訓練などの要望に対して柔軟に対応し、利用者の満足度向上にも努めている。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 なし